

3 人と自然にやさしい快適なまち【快適環境都市】(3) 住みよい暮らしを支える(住宅と住環境、生活道路、水道、污水対策、環境衛生、墓地・斎場)

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				一次評価																二次評価					
					15年度	16年度	17年度	18年度	主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	評価結果	評価理由							
									指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度								17年度	18年度					
1	市営住宅修繕事業	建設局住宅課	○事業開始年度 昭和62年度 【概要】市営住宅の適切な維持管理を図るとともに、入居者に対し快適な住宅を提供するため、計画的に修繕を実施する。 【対象者】市営住宅入居者(住宅に困窮する低額所得者) 【具体的な活動内容】 ・主な計画修繕項目:住宅敷地等整備工事(建物入り口の段差解消等)、玄関スチール戸改修工事、屋上防水改修工事、鉄部塗装改修(玄関ドア塗装等)、外部建具周りシーリング改修工事、圧送式ポンプ取替工事、テレビ共聴改修工事、送水ポンプ取替工事、ペランダ手摺改修工事、浴室・トイレ手摺改修工事、遊具補修工事	国補助	[概算コスト] 304,171 (内訳) ・決算額 297,349 ・人件費 6,822 (1.59人)	[概算コスト] 293,674 (内訳) ・決算額 286,892 ・人件費 6,782 (1.59人)	[概算コスト] 264,759 (内訳) ・決算額 258,816 ・人件費 5,943 (1.40人)	[概算コスト] 164,194 (内訳) ・予算額 158,251 ・人件費 5,943 (1.40人)	修繕等完了件数 [目標値] 79 [実績値] 79 <達成率> 100%	[目標値] 72 [実績値] 72 <達成率> 100%	[目標値] 59 [実績値] 59 <達成率> 100%	[目標値] 50 [実績値] 59 <達成率> 100%	良質な住宅ストックの形成 [目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市営住宅における施設の適切な維持管理を行い、入居者に快適な住宅を提供するため、計画的に修繕を実施する必要がある。
2	市営住宅建設事業	建設局住宅課	○事業開始年度 昭和57年度 【概要】住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で賃貸する市営住宅を建設する。 【対象者】住宅に困窮する低額所得者 【具体的な活動内容】 ・補助事業:地域住宅交付金、公営住宅整備事業等 ・補助率:45%~50% ・17年度 建設住宅(着工) 三和住宅、下伊敷住宅、大原住宅、ラメール中名、直木住宅 18年度 建設住宅(着工) 辻ヶ丘住宅、真砂本町住宅、直木住宅	国補助	[概算コスト] 1,132,403 (内訳) ・決算額 1,117,214 ・人件費 15,189 (3.54人)	[概算コスト] 1,490,403 (内訳) ・決算額 1,474,023 ・人件費 16,380 (3.84人)	[概算コスト] 1,940,877 (内訳) ・決算額 1,923,898 ・人件費 16,979 (4.00人)	[概算コスト] 871,586 (内訳) ・予算額 855,456 ・人件費 16,130 (3.80人)	市営住宅の建設着工戸数 [目標値] 62 [実績値] 62 <達成率> 100%	[目標値] 104 [実績値] 104 <達成率> 100%	[目標値] 137 [実績値] 137 <達成率> 100%	[目標値] 69 [実績値] 69 <達成率> 100%	市営住宅の建設完成戸数 [目標値] 106 [実績値] 106 <達成率> 100%	[目標値] 148 [実績値] 148 <達成率> 100%	[目標値] 120 [実績値] 120 <達成率> 100%	[目標値] 131 [実績値] 131 <達成率> 100%	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Bc	事業手段の見直し(その他) (理由) 住宅ストック総合活用計画の見直しの中で、市営住宅の供給戸数についても検討する必要がある。
3	市営住宅建替等推進事業	建設局住宅課	○事業開始年度 平成元年度 【概要】市営住宅建替事業、市営住宅ストック総合改善事業(全面的改善)等の施行に伴う移転対象者に対し、移転費及び協力費を支給する。 【対象者】市営住宅の入居者 【具体的な活動内容】 ・移転対象者に対し、移転費として171千円(地域住宅交付金交付率45%、交付限度額)を支給している。また、協力費として60千円を支給している。	国補助	[概算コスト] 17,799 (内訳) ・決算額 17,370 ・人件費 429 (0.10人)	[概算コスト] 19,607 (内訳) ・決算額 19,180 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 4,985 (内訳) ・決算額 4,561 ・人件費 424 (0.10人)	[概算コスト] 20,256 (内訳) ・予算額 19,832 ・人件費 424 (0.10人)	移転対象戸数 [目標値] 74 [実績値] 74 <達成率> 100%	[目標値] 82 [実績値] 82 <達成率> 100%	[目標値] 26 [実績値] 26 <達成率> 100%	[目標値] 96 [実績値] 96 <達成率> 100%	移転した戸数 [目標値] 74 [実績値] 74 <達成率> 100%	[目標値] 82 [実績値] 82 <達成率> 100%	[目標値] 26 [実績値] 26 <達成率> 100%	[目標値] 96 [実績値] 96 <達成率> 100%	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市営住宅の建替事業、市営住宅ストック総合改善事業等の円滑な推進を図るため、事業施行に伴う移転対象者に対し、移転費及び協力費を支給する必要がある。	
4	優良賃貸住宅供給促進事業	建設局住宅課	○事業開始年度 平成8年度 【概要】賃貸住宅に対する助成を行うことにより優良な民間賃貸住宅のストックの形成を誘導するとともに、中堅所得者や高齢者に対し良質で比較的低廉な賃貸住宅の供給を促進する。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・補助種類:地域住宅交付金、公営住宅整備事業等 ・補助対象:建設費補助、家賃対策補助 ・補助率:45%~50% ・効果:中堅所得者や高齢者に対し良質で比較的低廉な賃貸住宅の供給が促進される。	国補助	[概算コスト] 76,821 (内訳) ・決算額 74,676 ・人件費 2,145 (0.50人)	[概算コスト] 95,575 (内訳) ・決算額 93,442 ・人件費 2,133 (0.50人)	[概算コスト] 59,504 (内訳) ・決算額 57,806 ・人件費 1,698 (0.40人)	[概算コスト] 138,963 (内訳) ・予算額 136,841 ・人件費 2,122 (0.50人)	認定戸数 [目標値] 70 [実績値] 70 <達成率> 100%	[目標値] 70 [実績値] 25 <達成率> 35.7%	[目標値] 50 [実績値] 52 <達成率> 104.0%	[目標値] 50 [実績値] 50 <達成率> 100%	供給戸数(累計) [目標値] 296 [実績値] 263 <達成率> 88.9%	[目標値] 333 [実績値] 326 <達成率> 97.9%	[目標値] 386 [実績値] 351 <達成率> 90.9%	[目標値] 423 [実績値] 423 <達成率> 100%	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 優良な民間賃貸住宅のストックの形成を誘導するとともに、中堅所得者や高齢者に対し良質で比較的低廉な賃貸住宅の供給を促進するため、賃貸住宅に対する助成を行うことは必要である。	
5	市営住宅ストック総合改善事業	建設局住宅課	○事業開始年度 平成15年度 【概要】「市営住宅ストック総合活用計画」に基づき、居住性の向上、高齢者等への対応、安全性の確保等を目的とした改善を実施する。 【対象者】市営住宅入居者 【具体的な活動内容】 ・補助種類:地域住宅交付金、公営住宅整備事業等 ・補助率:45%~50% ・17年度 全面・個別住宅(着工) 西田住宅 18年度 建設住宅(着工) 鴨池新町住宅、武岡(二)住宅	国補助	[概算コスト] 17,381 (内訳) ・決算額 14,378 ・人件費 3,003 (0.70人)	[概算コスト] 62,910 (内訳) ・決算額 59,924 ・人件費 2,986 (0.70人)	[概算コスト] 304,168 (内訳) ・決算額 298,650 ・人件費 5,518 (1.30人)	[概算コスト] 859,128 (内訳) ・予算額 851,063 ・人件費 8,065 (1.90人)	改善に着手する戸数 [目標値] 70 [実績値] 70 <達成率> 100%	[目標値] 47 [実績値] 47 <達成率> 100%	[目標値] 90 [実績値] 90 <達成率> 100%	改善された戸数 [目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] 70 [実績値] 70 <達成率> 100%	[目標値] 137 [実績値] 137 <達成率> 100%	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 老朽化した市営住宅の効率的かつ効果的な居住水準の向上を図るため、市営住宅ストック総合活用計画に基づき、計画的に取り組む必要がある。	
6	市営住宅建替団地計画策定事業	建設局住宅課	○事業開始年度 平成5年度 【概要】「市営住宅ストック総合活用計画」に基づき、住宅の建替を行うに先立ち、現況調査等を実施し、団地の建替計画を策定する。 【対象者】市営住宅入居者 【具体的な活動内容】 ・補助種類:地域住宅交付金、公営住宅整備事業等 ・補助対象:建替団地計画策定 ・補助率:45%~50% ・効果:事前に事業の周知徹底を図り、併せて、入居者の意向も踏まえた住戸や共同施設の計画、移転計画を盛り込んだ事業計画を作成することにより建替事業の円滑な推進が図られる。	国補助	[概算コスト] - (内訳) ・決算額 3,738 ・人件費 853 (人)	[概算コスト] 4,591 (内訳) ・決算額 3,765 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 4,614 (内訳) ・決算額 3,765 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] - (内訳) ・予算額 - ・人件費 - (人)	建替計画の策定団地数 [目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	策定した建替団地の数 [目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市営住宅の建替事業の円滑な推進を図るため、現況調査等を実施し、建替計画を策定する必要がある。	
7	既存集落活性化住宅建設事業	建設局住宅課	○事業開始年度 平成9年度 【概要】人口の減少や地域の活力が低下している指定既存集落の活性化を図るため、市営住宅を建設するもの。 【対象者】指定既存集落内に住む市民 【具体的な活動内容】 ・補助種類:地域住宅交付金、公営住宅整備事業等 ・補助率:45%~50% ・効果:17年度 建設住宅(着工) 小山田塚田住宅(10戸) 18年度 建設住宅(着工) 皆与志中組住宅(5戸)、犬迫住宅(10戸)	国補助	[概算コスト] 100,984 (内訳) ・決算額 92,832 ・人件費 8,152 (1.90人)	[概算コスト] 173,849 (内訳) ・決算額 165,744 ・人件費 8,105 (1.90人)	[概算コスト] 233,983 (内訳) ・決算額 225,918 ・人件費 8,065 (1.90人)	[概算コスト] 202,508 (内訳) ・予算額 197,414 ・人件費 5,094 (1.10人)	建築着手戸数 [目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100%	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100%	指定既存集落の活力の回復を図る [目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 人口の減少や地域の活力が低下している市街化調整区域内の指定既存集落の活力を回復するため、計画的に事業を進める必要がある。		

3 人と自然にやさしい快適なまち【快適環境都市】(3) 住みよい暮らしを支える(住宅と住環境、生活道路、水道、汚水対策、環境衛生、墓地・斎場)

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				一次評価																二次評価											
					15年度	16年度	17年度	18年度	主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	評価結果	評価理由													
									指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度								17年度	18年度											
8	既存集落現況調査事業	建設局 住宅課	○事業開始年度 平成17年度 【概要】旧5町のさらなる過疎化の進行が懸念される地域において、定住促進や地域活性化に資するため、「既存集落の活性化のための市営住宅の建設」について可能性を検討する。 【対象者】旧5町の市民 【具体的な活動内容】 ・旧5町の人口、世帯数、児童数等の推移の状況、住宅種別や住宅事情等を調査し、分析することによって「既存集落の活性化のための市営住宅の建設」の可能性について検討する。	市単	[概算コスト] 2,861 (内訳) ・決算額 ・人件費 (人)	[概算コスト] 4,410 (内訳) ・決算額 ・人件費 (人)	[概算コスト] 2,861 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.25人)	[概算コスト] 4,410 (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.40人)	市営住宅建設可能性調査対象地域数 (単位:件数)	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	指定既存集落の活力の回復を図る	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 旧5町のさらなる過疎化の進行が懸念される地域において、定住促進や地域活性化に資するため、「既存集落の活性化のための市営住宅の建設」について可能性を検討することは必要である。	
9	住居表示実施事業	建設局 土地利用調整課	○事業開始年度 昭和38年度 【概要】土地の地番のかわりに建物に合理的かつ順序よく番号をつけることにより、住所をわかりやすくし市民生活の利便性を向上させるものである。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・住居表示の実施(平成18年度は原良第二地区を実施する予定)、街区表示板の取替(平成18年度は希望ヶ丘・自由ヶ丘・伊敷・千年・緑ヶ丘団地と田上五丁目から田上八丁目を取替)、住居表示台帳の修正(平成18年度は慈眼寺団地・田上一丁目を修正)する。	市単	[概算コスト] 38,463 (内訳) ・決算額 ・人件費 (5.00人)	[概算コスト] 26,778 (内訳) ・決算額 ・人件費 (5.00人)	[概算コスト] 22,904 (内訳) ・決算額 ・人件費 (5.00人)	[概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費 (5.00人)	住居表示実施面積(地番整理済面積を含む) (単位:ha)	[目標値] 8400.40 [実績値] 6528.94 <達成率> 77.7%	[目標値] 8400.40 [実績値] 6585.54 <達成率> 78.4%	[目標値] 8,656 [実績値] 6,662.54 <達成率> 77.0%	[目標値] 8,656 [実績値] 6,662.54 <達成率> 77.0%	住居表示実施率(実施済面積の人口/計画面積の人口) (単位:%)	[目標値] 500,500 [実績値] 389,000 <達成率> 77.7%	[目標値] 501,200 [実績値] 393,000 <達成率> 78.4%	[目標値] 516,100 [実績値] 397,200 <達成率> 77.0%	[目標値] 516,100 [実績値] 397,200 <達成率> 77.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 住所をわかりやすくし、市民生活の利便性を向上を図るため、継続して計画的に実施していく必要がある。
10	幹線道路整備事業	建設局 道路建設課 谷山建設事務所	○事業開始年度 昭和61年度 【概要】地域特性に応じた有機的な生活道路網の整備を図るため、地域間道路や周辺団地とのアクセス道路及び公共施設に隣接する道路の整備を行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度取り組み路線:入来魚見ヶ原線ほか42線	市単	[概算コスト] 2,022,017 (内訳) ・決算額 ・人件費 (6.05人)	[概算コスト] 1,042,464 (内訳) ・決算額 ・人件費 (6.48人)	[概算コスト] 1,189,513 (内訳) ・決算額 ・人件費 (6.26人)	[概算コスト] 1,172,538 (内訳) ・予算額 ・人件費 (5.85人)	取り組み路線数 (単位:路線)	[目標値] 28 [実績値] 21 <達成率> 75.0%	[目標値] 29 [実績値] 24 <達成率> 82.8%	[目標値] 39 [実績値] 29 <達成率> 74.4%	[目標値] 43 [実績値] 29 <達成率> 67.4%	幹線道路の整備延長 (単位:km)	[目標値] 1.85 [実績値] 1.82 <達成率> 98.4%	[目標値] 1.52 [実績値] 1.78 <達成率> 117.1%	[目標値] 2.76 [実績値] 2.43 <達成率> 88.0%	[目標値] 3.54 [実績値] 2.43 <達成率> 68.9%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 地域特性に応じた有機的な生活道路網の整備を図るため、地域間道路や周辺団地とのアクセス道路及び公共施設に隣接する道路の整備を行うことは必要である。			
11	生活道路整備事業	建設局 道路建設課 谷山建設事務所	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】市民の日常的な生活に密着した、いわゆる足もと道路について、防災面や安全性に配慮した狭小幅員道路の拡幅改良等を行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度取り組み路線:上之丸線ほか30線	市単	[概算コスト] 335,263 (内訳) ・決算額 ・人件費 (2.60人)	[概算コスト] 386,295 (内訳) ・決算額 ・人件費 (2.76人)	[概算コスト] 338,320 (内訳) ・決算額 ・人件費 (3.53人)	[概算コスト] 430,657 (内訳) ・予算額 ・人件費 (3.63人)	取り組み路線数 (単位:路線)	[目標値] 34 [実績値] 34 <達成率> 100%	[目標値] 29 [実績値] 26 <達成率> 89.7%	[目標値] 26 [実績値] 17 <達成率> 65.4%	[目標値] 31 [実績値] 17 <達成率> 54.8%	整備延長 (単位:km)	[目標値] 1.89 [実績値] 1.61 <達成率> 85.2%	[目標値] 1.49 [実績値] 2.86 <達成率> 191.9%	[目標値] 1.71 [実績値] 1.60 <達成率> 93.6%	[目標値] 1.76 [実績値] 1.60 <達成率> 90.9%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 生活基盤の強化と環境の向上を図るため、市民の日常的な生活に密着した、いわゆる足もと道路について、防災面や安全性に配慮した狭小幅員道路の拡幅改良等を行う必要がある。			
12	側溝整備事業	建設局 道路建設課 谷山建設事務所	○事業開始年度 昭和56年度 【概要】生活環境の向上及び交通安全の確保を図るため、道路排水機能の整備拡充を行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度取り組み路線:千年団地56号線ほか88線	市単	[概算コスト] 1,679,841 (内訳) ・決算額 ・人件費 (5.97人)	[概算コスト] 1,829,720 (内訳) ・決算額 ・人件費 (5.41人)	[概算コスト] 1,528,121 (内訳) ・決算額 ・人件費 (5.66人)	[概算コスト] 1,312,813 (内訳) ・予算額 ・人件費 (6.29人)	取り組み路線数 (単位:路線)	[目標値] 116 [実績値] 150 <達成率> 129.3%	[目標値] 120 [実績値] 128 <達成率> 106.7%	[目標値] 105 [実績値] 138 <達成率> 131.4%	[目標値] 89 [実績値] 89 <達成率> 100%	側溝の整備延長 (単位:km)	[目標値] 19.44 [実績値] 20.20 <達成率> 103.9%	[目標値] 20.30 [実績値] 31.75 <達成率> 156.4%	[目標値] 16.80 [実績値] 18.91 <達成率> 112.6%	[目標値] 16.81 [実績値] 18.91 <達成率> 112.6%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 道路環境を良好に保つため、道路排水機能の整備を継続して実施する必要がある。			
13	舗装新設改良事業	建設局 道路建設課 谷山建設事務所	○事業開始年度 昭和42年度 【概要】交通量等を勘案して舗装面が老朽化した路線について、適切な舗装を行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度取り組み路線:星ヶ峯1号線ほか24線	市単	[概算コスト] 651,027 (内訳) ・決算額 ・人件費 (2.36人)	[概算コスト] 620,897 (内訳) ・決算額 ・人件費 (2.33人)	[概算コスト] 620,200 (内訳) ・決算額 ・人件費 (3.53人)	[概算コスト] 636,799 (内訳) ・予算額 ・人件費 (3.10人)	取り組み路線数 (単位:路線)	[目標値] 18 [実績値] 18 <達成率> 100%	[目標値] 17 [実績値] 17 <達成率> 100%	[目標値] 21 [実績値] 15 <達成率> 71.4%	[目標値] 25 [実績値] 15 <達成率> 60.0%	整備面積 (単位:m ²)	[目標値] 62,510 [実績値] 46,224 <達成率> 74.0%	[目標値] 63,165 [実績値] 50,341 <達成率> 79.7%	[目標値] 64,520 [実績値] 49,686 <達成率> 77.0%	[目標値] 53,658 [実績値] 49,686 <達成率> 92.6%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 道路環境を良好に保つため、交通量等を勘案して舗装面が老朽化した路線について、適切な舗装を行う必要がある。			
14	道路災害防止事業	建設局 道路建設課 谷山建設事務所	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】災害危険箇所に位置付けられた市道沿いの自然崖面崩壊による災害の発生・拡大等を未然に防止するために必要な整備を行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度取り組み路線:城ヶ谷線、実方団地1号線、上之原中央線、明ヶ窪長井田線、春山下り山線、山方線	市単	[概算コスト] 182,937 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.90人)	[概算コスト] 47,793 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.67人)	[概算コスト] 12,880 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.53人)	[概算コスト] 38,160 (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.45人)	取り組み箇所数 (単位:箇所)	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 3 <達成率> 50.0%	整備箇所数 (単位:箇所)	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 6 [実績値] 2 <達成率> 33.3%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 道路交通の安全性の確保や市民生活の安定を図るため、災害危険箇所とされた市道沿いの崖面崩壊を未然に防止する必要がある。			

3 人と自然にやさしい快適なまち[快適環境都市] (3) 住みよい暮らしを支える(住宅と住環境、生活道路、水道、污水対策、環境衛生、墓地・斎場)

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				一次評価																二次評価							
					15年度	16年度	17年度	18年度	主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	評価結果	評価理由									
									指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度								17年度	18年度							
15	橋りょう新設改良事業	建設局 道路建設課 谷山建設事務所	○事業開始年度 昭和56年度 【概要】橋りょうの新設、架け替え及び拡幅改良を行うことにより、安全で円滑な交通の確保を図る。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度取り組み橋りょう:第一中迫橋、天神橋、潮見橋	市単	[概算コスト]115,256 (内訳) ・決算額112,896 ・人件費2,360 (0.55人)	[概算コスト]28,076 (内訳) ・決算額23,299 ・人件費4,777 (1.12人)	[概算コスト]49,319 (内訳) ・決算額42,697 ・人件費6,622 (1.56人)	[概算コスト]227,136 (内訳) ・予算額220,642 ・人件費6,494 (1.53人)	取り組み橋りょう数	[目標値]4 [実績値]4 <達成率>100%	[目標値]4 [実績値]3 <達成率>75.0%	[目標値]2 [実績値]2 <達成率>100%	[目標値]3 [実績値]3 <達成率>100%	完成橋りょう数	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 安全で円滑な交通の確保を図るため、継続して橋りょうの新設、架け替え等を実施する必要がある。
16	新川河川改修に伴う橋りょう等整備事業	建設局 道路建設課	○事業開始年度 平成9年度 【概要】二級河川「新川」の都市河川改修に伴う市道橋の架け替え等により、総合治水対策と市民の生命財産の安全性の確保を図る。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度取り組み橋りょう:久保橋	市単	[概算コスト]22,794 (内訳) ・決算額21,464 ・人件費1,330 (0.31人)	[概算コスト]5,818 (内訳) ・決算額4,496 ・人件費1,322 (0.31人)	[概算コスト]41,620 (内訳) ・決算額39,583 ・人件費2,037 (0.48人)	[概算コスト]130,916 (内訳) ・予算額128,496 ・人件費2,420 (0.57人)	取り組み橋りょう数	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	完成橋りょう数	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 県の河川改修にあわせて、計画的に事業を推進する必要がある。			
17	交通安全施設整備事業	建設局 道路建設課 谷山建設事務所	○事業開始年度 昭和44年度 【概要】交通事故が多発している道路その他緊急に交通の安全を確保する必要がある道路について、歩道設置や道路反射鏡等の交通安全施設の整備を行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度取り組み路線:西田本通線ほか31路線(歩道設置、路肩改良)	市単	[概算コスト]996,926 (内訳) ・決算額972,599 ・人件費24,327 (5.67人)	[概算コスト]899,267 (内訳) ・決算額878,025 ・人件費21,242 (4.98人)	[概算コスト]1,007,471 (内訳) ・決算額978,564 ・人件費28,907 (6.81人)	[概算コスト]1,272,152 (内訳) ・予算額1,239,170 ・人件費32,982 (7.77人)	取り組み路線数	[目標値]29 [実績値]25 <達成率>86.2%	[目標値]27 [実績値]24 <達成率>88.9%	[目標値]26 [実績値]17 <達成率>65.4%	[目標値]32 [実績値]32 <達成率>100%	整備延長	[目標値]2.75 [実績値]2.54 <達成率>92.4%	[目標値]2.29 [実績値]2.54 <達成率>110.9%	[目標値]2.42 [実績値]1.57 <達成率>64.9%	[目標値]2.72 [実績値]2.72 <達成率>100%	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 交通事故が多発している道路その他緊急に交通の安全を確保する必要がある道路について、歩道設置や道路反射鏡等の交通安全施設の整備を行う必要がある。		
18	石油貯蔵施設立地対策道路整備事業	建設局 谷山建設事務所	○事業開始年度 昭和53年度 【概要】緊急時における避難経路の分散により、地域住民が安全迅速に避難できる避難経路を確保するとともに、緊急車両の通行の確保も視野に入れ、基幹的な道路の整備を図る。 【対象者】不特定多数の市民 【具体的な活動内容】 ・石油貯蔵施設立地対策費 限度額:110,807千円	県補助	[概算コスト]112,259 (内訳) ・決算額106,252 ・人件費6,007 (1.40人)	[概算コスト]275,721 (内訳) ・決算額269,749 ・人件費5,972 (1.40人)	[概算コスト]130,713 (内訳) ・決算額125,195 ・人件費5,518 (1.30人)	[概算コスト]144,245 (内訳) ・予算額140,000 ・人件費4,245 (1.00人)	整備延長	[目標値]0.33 [実績値]0.33 <達成率>100%	[目標値]0.62 [実績値]0.62 <達成率>100%	[目標値]1.19 [実績値]1.19 <達成率>100%	[目標値]1.30 [実績値]1.30 <達成率>100%	整備延長の進捗率	[目標値]14.60 [実績値]14.60 <達成率>100%	[目標値]27.43 [実績値]27.43 <達成率>100%	[目標値]52.65 [実績値]52.65 <達成率>100%	[目標値]57.74 [実績値]57.74 <達成率>100%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 緊急時に地域住民が安全迅速に避難できる避難経路を確保するため、緊急車両の通行の確保も視野に入れ、基幹的な道路の整備を図る必要がある。		
19	半島振興対策道路整備事業	建設局 道路建設課	○事業開始年度 平成12年度 【概要】半島振興対策実施地域(産業基盤及び生活環境の整備等)について他の地域と比較して低位にある地域の道路網の整備を図るため、基幹的な道路の整備を行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度取り組み路線:松元石谷線、春山田原春線、中原線、福山仁田尾線、仁田尾六ヶ所線	市単	[概算コスト]273,432 (内訳) ・決算額272,788 ・人件費644 (0.15人)	[概算コスト]181,452 (内訳) ・決算額180,812 ・人件費640 (0.15人)	[概算コスト]106,067 (内訳) ・決算額105,176 ・人件費891 (0.21人)	[概算コスト]154,499 (内訳) ・予算額150,000 ・人件費4,499 (1.06人)	取り組み路線数	[目標値]4 [実績値]4 <達成率>100%	[目標値]4 [実績値]4 <達成率>100%	[目標値]5 [実績値]5 <達成率>100%	[目標値]5 [実績値]5 <達成率>100%	整備延長	[目標値]0.21 [実績値]0.37 <達成率>176.2%	[目標値]0.29 [実績値]0.35 <達成率>120.7%	[目標値]0.47 [実績値]0.22 <達成率>46.8%	[目標値]0.44 [実績値]0.44 <達成率>100%	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 道路は重要な社会基盤施設であり、半島地域においても基幹的な市道整備の必要性が高いことから、機能的な道路網の整備を実施し、地域住民の生活の向上と地域内の均衡ある発展に資することが必要である。		
20	特定交通安全施設等整備事業	建設局 道路建設課 谷山建設事務所	○事業開始年度 昭和43年度 【概要】交通事故が多発している道路その他緊急に交通の安全を確保する必要がある道路について、交差点改良等の交通安全施設の整備を行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度取り組み路線:帯迫波川線	国補助	[概算コスト]49,987 (内訳) ・決算額49,000 ・人件費987 (0.23人)	[概算コスト]272,558 (内訳) ・決算額270,340 ・人件費2,218 (0.52人)	[概算コスト]191,517 (内訳) ・決算額188,206 ・人件費3,311 (0.78人)	[概算コスト]14,509 (内訳) ・予算額14,000 ・人件費509 (0.12人)	取り組み箇所数	[目標値]2 [実績値]1 <達成率>50.0%	[目標値]4 [実績値]4 <達成率>100%	[目標値]3 [実績値]3 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	整備箇所数	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	[目標値]2 [実績値]2 <達成率>100%	[目標値]1 [実績値]1 <達成率>100%	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 交通事故が多発している道路その他緊急に交通の安全を確保する必要がある道路について、交差点改良等の交通安全施設の整備を行う必要がある。		
21	市道路敷登記整備事業	建設局 道路管理課	○事業開始年度 平成8年度 【概要】市道の適正な管理のため、市道認定された道路の登記状況調査結果に基づき、市道でありながら過去に道路の新設や改良等がなされたまま、登記が本市所有になっていない土地について、地権者の協力を得て、本市に所有権移転登記等を行う。 【対象者】市道路敷内に土地を有する地権者 【具体的な活動内容】 ・登記整備路線の聞き取り調査、地権者への協力依頼 ・測量のための市道と民有地の立会、境界確認 ・測量結果に基づく分筆・所有権移転等の登記処理 ・登記完了時の地権者への報告	市単	[概算コスト]146,196 (内訳) ・決算額137,615 ・人件費8,581 (2.00人)	[概算コスト]139,191 (内訳) ・決算額126,394 ・人件費12,797 (3.00人)	[概算コスト]136,058 (内訳) ・決算額123,324 ・人件費12,734 (3.00人)	[概算コスト]132,609 (内訳) ・予算額119,875 ・人件費12,734 (3.00人)	市道路敷内の登記整備発注筆数	[目標値]1,300 [実績値]1,586 <達成率>122.0%	[目標値]1,300 [実績値]1,466 <達成率>112.8%	[目標値]1,300 [実績値]1,447 <達成率>111.3%	[目標値]1,300 [実績値]1,300 <達成率>100%	市道路敷内の登記整備処理筆数	[目標値]23,065 [実績値]2,260 <達成率>9.8%	[目標値]23,065 [実績値]2,991 <達成率>13.0%	[目標値]23,065 [実績値]3,929 <達成率>17.0%	[目標値]23,065 [実績値]23,065 <達成率>100%	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市道の適正な管理を行うため、道路の登記状況調査結果に基づき、適正な登記整備を継続して実施する必要がある。		

3 人と自然にやさしい快適なまち【快適環境都市】(3) 住みよい暮らしを支える(住宅と住環境、生活道路、水道、汚水対策、環境衛生、墓地・斎場)

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				一次評価																二次評価								
					15年度	16年度	17年度	18年度	主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	評価結果	評価理由										
									指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度								17年度	18年度								
22	自転車等の放置防止対策及び駐車場等管理運営事業	建設局 道路管理課	○事業開始年度 平成8年度 【概要】公共の場所における自転車等の放置等の防止に努め、交通の円滑化及び良好な生活環境の確保を図るため、放置自転車等に対する指導及び撤去等を行うとともに、市営自転車等駐車場の管理運営を行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・放置自転車等に対する警告書の貼付(年末年始を除く毎日) ・放置自転車等の撤去並びに返還(撤去は祝日・年末年始を除く毎日、返還は年末年始を除く毎日) ・自転車等駐車場の管理運営(有)	市単	[概算コスト] 86,607 (内訳) ・決算額 80,171 ・人件費 6,436 (1.50人)	[概算コスト] 102,719 (内訳) ・決算額 98,453 ・人件費 4,266 (1.00人)	[概算コスト] 133,749 (内訳) ・決算額 125,259 ・人件費 8,490 (2.00人)	[概算コスト] 137,018 (内訳) ・予算額 128,528 ・人件費 8,490 (2.00人)	放置自転車等に対する警告書の貼付 (単位:枚)	[目標値] 34,696 [実績値] 34,696 <達成率> 100%	[目標値] 48,484 [実績値] 48,484 <達成率> 100%	[目標値] 38,513 [実績値] 38,513 <達成率> 100%	[目標値] 26,000 [実績値] 26,000 <達成率> 100%	有料市営自転車等駐車場の利用台数(1日平均) (単位:台)	[目標値] 3,396 [実績値] 2,533 <達成率> 74.6%	[目標値] 3,934 [実績値] 3,144 <達成率> 79.9%	[目標値] 4,329 [実績値] 3,614 <達成率> 83.5%	[目標値] 4,329 [実績値] 3,614 <達成率> 83.5%	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	B ₀	専手段の見直し(その他) (理由) 撤去自転車を管理するための委託費などが生じていることから、保管所の運営を見直すなど、コスト削減に努めるべきである。	
23	道路維持事業	建設局 道路維持課 道路建設課 谷山建設事務所	○事業開始年度 不明 【概要】安全で快適な道路環境を保全するために、道路パトロールや市民からの通報等により発見された市道の不良箇所、危険箇所等の維持補修を行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・道路補修・側溝補修・市道のり面伏開(草刈)・側溝浚渫(側溝清掃) ・道路構造物補修(ロードミラー、防護柵等の修繕) ・道路清掃(土砂除去、倒木除去等)・死体処理等	市単	[概算コスト] 2,068,735 (内訳) ・決算額 1,730,640 ・人件費 338,095 (78.80人)	[概算コスト] 2,199,985 (内訳) ・決算額 1,866,420 ・人件費 333,565 (78.20人)	[概算コスト] 2,756,096 (内訳) ・決算額 2,372,672 ・人件費 384,574 (90.60人)	[概算コスト] 2,554,030 (内訳) ・予算額 2,176,247 ・人件費 377,783 (89.00人)	市民からの陳情・要望等に対する処理件数 (単位:件)	[目標値] 11,027 [実績値] 11,027 <達成率> 100%	[目標値] 11,601 [実績値] 11,601 <達成率> 100%	[目標値] 13,637 [実績値] 13,637 <達成率> 100%	[目標値] 13,000 [実績値] 13,000 <達成率> 100%	市道の不良箇所等の補修及び安全快適な道路環境の保全	[目標値] 11,027 [実績値] 11,027 <達成率> 100%	[目標値] 11,601 [実績値] 11,601 <達成率> 100%	[目標値] 13,637 [実績値] 13,637 <達成率> 100%	[目標値] 13,000 [実績値] 13,000 <達成率> 100%	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 安全で快適な道路環境を保全するために、道路の不良箇所等の維持修繕を継続して実施する必要がある。
24	鉛管対策事業	水道局 水道管路課	○事業開始年度 平成15年度 【概要】鉛溶出による人体への影響を考慮して水質基準が強化されたため、鉛製給水管解消計画を策定し、鉛管の解消を推進している。 【対象者】鉛製給水管使用者。 【具体的な活動内容】 ・鉛管の取替えは、 (1)鉛管の密集布設地区、漏水多発地区、高水圧地区等の場合 (2)配水管の布設替えに伴う場合 (3)道路改良工事に伴う場合 (4)家屋の建替え等を行う場合	市単	[概算コスト] 298,434 (内訳) ・決算額 272,691 ・人件費 25,743 (6.00人)	[概算コスト] 308,693 (内訳) ・決算額 283,100 ・人件費 25,593 (6.00人)	[概算コスト] 293,244 (内訳) ・決算額 267,775 ・人件費 25,469 (6.00人)	[概算コスト] 317,777 (内訳) ・予算額 292,308 ・人件費 25,469 (6.00人)	鉛製給水管の取替件数 (単位:件)	[目標値] 5,400 [実績値] 5,041 <達成率> 93.4%	[目標値] 5,400 [実績値] 4,416 <達成率> 81.8%	[目標値] 5,400 [実績値] 4,506 <達成率> 83.4%	[目標値] 5,400 [実績値] 4,506 <達成率> 83.4%	鉛製給水管の取替人口	[目標値] 283,839 [実績値] 27,199 <達成率> 4.8%	[目標値] 283,839 [実績値] 27,199 <達成率> 9.6%	[目標値] 283,839 [実績値] 39,679 <達成率> 14.0%	[目標値] 283,839 [実績値] 39,679 <達成率> 14.0%	△	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 安全な水を供給するという水道事業の目的に沿ったものであり、計画的に鉛管を解消していく必要がある。		
25	簡易水道等指導事業	環境局 環境衛生課	○事業開始年度 昭和40年度 【概要】簡易専用水道(10立方メートルを超える受水槽)の設置者に対し、安心安全な給水の確保を図るため、衛生的な維持管理の指導を行う。 【対象者】簡易専用水道設置管理者 【具体的な活動内容】 ・定期水質検査指導・施設衛生管理立ち入り指導	市単	[概算コスト] 4,362 (内訳) ・決算額 71 ・人件費 4,291 (1.00人)	[概算コスト] 4,266 (内訳) ・決算額 - ・人件費 4,266 (1.00人)	[概算コスト] 4,313 (内訳) ・決算額 68 ・人件費 4,245 (1.00人)	[概算コスト] 4,245 (内訳) ・予算額 - ・人件費 4,245 (1.00人)	検査対象簡易専用水道施設数 (単位:件)	[目標値] 875 [実績値] 875 <達成率> 100%	[目標値] 873 [実績値] 873 <達成率> 100%	[目標値] 917 [実績値] 917 <達成率> 100%	[目標値] 917 [実績値] 917 <達成率> 100%	検査済み施設数 (単位:件)	[目標値] 875 [実績値] 822 <達成率> 93.9%	[目標値] 873 [実績値] 799 <達成率> 91.5%	[目標値] 917 [実績値] 862 <達成率> 94.0%	[目標値] 917 [実績値] 862 <達成率> 94.0%	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 安心安全な給水の確保を図るため、衛生的な維持管理の指導を行うことは必要である。	
26	簡易水道組合助成事業	環境局 環境衛生課	○事業開始年度 昭和29年度 【概要】給水区域内の簡易水道等については、市水道事業への編入工事に対して助成を行う。給水区域外の簡易水道等については、施設の改良工事に対して助成を行う。 【対象者】簡易水道等組合 【具体的な活動内容】 ・簡易水道等組合が行う施設の改良工事、市水道局への編入工事等に対して、助成する。施設改良工事 2分の1 編入工事3分の2 災害復旧工事 4分の3	市単	[概算コスト] 10,059 (内訳) ・決算額 9,373 ・人件費 686 (0.16人)	[概算コスト] 43,045 (内訳) ・決算額 42,363 ・人件費 682 (0.16人)	[概算コスト] 88,401 (内訳) ・決算額 87,722 ・人件費 679 (0.16人)	[概算コスト] 9,847 (内訳) ・予算額 9,168 ・人件費 679 (0.16人)	補助金額 (単位:円)	[目標値] 12,750 [実績値] 8,823 <達成率> 69.2%	[目標値] 45,163 [実績値] 40,503 <達成率> 89.7%	[目標値] 87,343 [実績値] 83,967 <達成率> 96.1%	[目標値] 8,470 [実績値] 8,470 <達成率> 100%	助成実施件数 (単位:件)	[目標値] 8 [実績値] 17 <達成率> 212.5%	[目標値] 8 [実績値] 18 <達成率> 225.0%	[目標値] 12 [実績値] 14 <達成率> 116.7%	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 簡易水道等その他地域住民が共同で使用する飲料水の給水施設の衛生向上と生活環境改善に必要である。	
27	配水池等整備事業	水道局 水道整備課	○事業開始年度 平成14年度 【概要】認可計画に基づき、地域の水需要に対応した配水池等の給水施設の整備を行い、貯水能力の強化等に努める。 【対象者】給水区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・平成23年度までの認可計画期間内に、配水池築造、送水施設の建設、送水管・配水幹線などの施設整備を行う。 主な施設整備 笠松配水池500m ³ 増設、栄配水池300m ³ 新設、笠木第二配水池100m ³ 新設、中山ポンプ所の建設など	市単	[概算コスト] 228,985 (内訳) ・決算額 219,546 ・人件費 9,439 (2.20人)	[概算コスト] 780,599 (内訳) ・決算額 757,565 ・人件費 23,034 (5.40人)	[概算コスト] 1,267,180 (内訳) ・決算額 1,233,646 ・人件費 33,534 (7.90人)	[概算コスト] 394,487 (内訳) ・予算額 380,479 ・人件費 14,008 (3.30人)	整備箇所数 (単位:施設)	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100%	[目標値] 9 [実績値] 8 <達成率> 88.9%	[目標値] 18 [実績値] 17 <達成率> 94.4%	[目標値] 8 [実績値] 17 <達成率> 94.4%	累計配水池容量 (単位:m ³)	[目標値] 282,880 [実績値] 273,210 <達成率> 96.6%	[目標値] 282,880 [実績値] 273,210 <達成率> 96.6%	[目標値] 282,880 [実績値] 279,150 <達成率> 98.7%	[目標値] 282,880 [実績値] 279,150 <達成率> 98.7%	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 水道は市民生活に直結する基盤施設であるため、地域の水需要に対応した配水池等の給水施設の整備を行い、貯水能力の強化等を行う必要がある。	
28	配水管整備事業	水道局 水道整備課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】未布設地区の市民からの要望への対応、地域の水需要の実態に応じた配水管網整備、高低水圧地区の解消等を図るため、配水管整備を行う。 【対象者】給水区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・配水管整備6ヶ年計画(H18~H23)に基づき市内一円の配水管整備を行う。 口径 50mm~300mm 総延長 174,401m	国補助	[概算コスト] 935,702 (内訳) ・決算額 897,945 ・人件費 37,757 (8.80人)	[概算コスト] 864,962 (内訳) ・決算額 827,425 ・人件費 37,537 (8.80人)	[概算コスト] 844,538 (内訳) ・決算額 807,184 ・人件費 37,354 (8.80人)	[概算コスト] 1,039,716 (内訳) ・予算額 1,002,362 ・人件費 37,354 (8.80人)	整備延長 (単位:m)	[目標値] 27,197 [実績値] 24,932 <達成率> 91.7%	[目標値] 28,054 [実績値] 23,272 <達成率> 83.0%	[目標値] 29,555 [実績値] 23,262 <達成率> 78.7%	[目標値] 28,344 [実績値] 23,262 <達成率> 78.7%	累計整備延長	[目標値] 138,645 [実績値] 75,896 <達成率> 54.7%	[目標値] 138,645 [実績値] 99,168 <達成率> 71.5%	[目標値] 138,645 [実績値] 122,430 <達成率> 88.3%	[目標値] 174,401 [実績値] 122,430 <達成率> 88.3%	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 水道は市民生活に直結する基盤施設であるため、未布設地区の市民からの要望への対応、地域の水需要の実態に応じた配水管網整備、高低水圧地区の解消等を図る必要がある。	

3 人と自然にやさしい快適なまち【快適環境都市】(3) 住みよい暮らしを支える(住宅と住環境、生活道路、水道、污水対策、環境衛生、墓地・斎場)

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				一次評価																二次評価										
					15年度	16年度	17年度	18年度	主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	評価結果	評価理由												
									指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度								17年度	18年度										
29	相互連絡管整備事業	水道局 水道整備課	○事業開始年度 平成3年度 【概要】災害、事故等の発生時においても、可能な限り市民生活に支障をおよぼさないよう給水の二系統化を図る。 【対象者】給水区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度から平成20年度までの3か年で、皇徳寺ニュータウンと星ヶ峯ニュータウンへ二系統化の送水管を整備する。 皇徳寺NTへの送水管 口径400mm、延長2,100m 星ヶ峯NTへの送水管 口径400mm、延長2,100m	—	[概算コスト] 76,858 (内訳) ・決算額 72,997 ・人件費 3,861 (0.90人)	[概算コスト] 118,702 (内訳) ・決算額 113,583 ・人件費 5,119 (1.20人)	[概算コスト] 44,215 (内訳) ・決算額 40,607 ・人件費 3,608 (0.85人)	[概算コスト] 251,085 (内訳) ・予算額 247,901 ・人件費 3,184 (0.75人)	相互連絡管の布設延長 (単位:m)	[目標値] 528 [実績値] 530 <達成率> 100.4%	[目標値] 520 [実績値] 567 <達成率> 109.0%	[目標値] 195 [実績値] 268 <達成率> 137.4%	[目標値] 1,850 [実績値] 2 <達成率> —	二系統化が図られた対象区域人口 (単位:人)	[目標値] 64,600 [実績値] — <達成率> —%	[目標値] 64,600 [実績値] — <達成率> —%	[目標値] 64,600 [実績値] 37,800 <達成率> 58.5%	[目標値] 64,600 [実績値] — <達成率> —%	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 災害時等における給水を確保する手段として二系統化を図ることは必要である。
30	簡易水道等編入促進事業	環境局 環境衛生課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】給水区域内の簡易水道等の、市水道事業への編入促進を図るため、水道局が行う基幹施設整備工事に対して、補助金を交付する。 【対象者】市水道局 【具体的な活動内容】 ・簡易水道等の市水道事業への編入を行うため、水道局が実施する基幹施設整備(配水管布設等)工事に対して、事業費の3分の2を助成する。	市単	[概算コスト] 107,205 (内訳) ・決算額 107,162 ・人件費 43 (0.01人)	[概算コスト] 119,998 (内訳) ・決算額 119,955 ・人件費 43 (0.01人)	[概算コスト] 208,574 (内訳) ・決算額 208,532 ・人件費 42 (0.01人)	[概算コスト] 3,402 (内訳) ・予算額 3,360 ・人件費 42 (0.01人)	市水道局へ編入予定の組合数 (単位:件)	[目標値] — [実績値] — <達成率> —%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] — <達成率> —%	編入対象予定組合数(20組合)に対する編入が完了した組合数(累計) (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100%	[目標値] 12 [実績値] — <達成率> —%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 地域への飲料水の安定的供給のため、簡易水道等の市水道事業への編入促進は必要である。		
31	簡易水道等編入事業	水道局 水道整備課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】民間の簡易水道や飲料水供給施設について、市水道事業への編入の促進を図るため、基幹施設の整備を行う。 【対象者】民間の簡易水道及び飲料水供給施設使用者 【具体的な活動内容】 ・平成18年度から平成19年度までの2か年で花野地区の簡易水道を編入するための基幹施設整備を行う。 口径100mm、延長480m	—	[概算コスト] 444,189 (内訳) ・決算額 425,954 ・人件費 18,235 (4.25人)	[概算コスト] 195,076 (内訳) ・決算額 179,933 ・人件費 15,143 (3.55人)	[概算コスト] 356,657 (内訳) ・決算額 337,556 ・人件費 19,101 (4.50人)	[概算コスト] 12,468 (内訳) ・予算額 5,040 ・人件費 7,428 (1.75人)	施設整備延長 (単位:m)	[目標値] 3,650 [実績値] 3,242 <達成率> 88.8%	[目標値] 3,880 [実績値] 4,795 <達成率> 123.6%	[目標値] 2,690 [実績値] 5,811 <達成率> 216.0%	[目標値] 240 [実績値] — <達成率> —%	編入済給水人口 (単位:人)	[目標値] — [実績値] — <達成率> —%	[目標値] 344 [実績値] 344 <達成率> 100%	[目標値] 1,598 [実績値] 1,598 <達成率> 100%	[目標値] 52 [実績値] — <達成率> —%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 編入により給水の安定化が図られることから、編入を促進するための基幹施設整備は必要である。			
32	枝線管渠整備事業	水道局 下水道建設課	○事業開始年度 昭和27年度 【概要】公共下水道の整備区域の拡大を図り、各家庭や事業所等から排除された汚水を幹線に送るため、汚水管の面的な整備を行うものである。 【対象者】公共下水道事業認可区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・坂之上地区汚水管路施設工事 L=4,286m ・土地区画整理事業区域内汚水管路施設工事 L=6,701m ・処理区域内整備 L=4,009m	国補助	[概算コスト] 866,468 (内訳) ・決算額 812,836 ・人件費 53,632 (12.50人)	[概算コスト] 860,136 (内訳) ・決算額 806,817 ・人件費 53,319 (12.50人)	[概算コスト] 765,172 (内訳) ・決算額 712,113 ・人件費 53,059 (12.50人)	[概算コスト] 882,342 (内訳) ・予算額 82,258 ・人件費 6,367 (1.50人)	枝線管渠布設延長 (単位:m)	[目標値] 12,714 [実績値] 16,759 <達成率> 131.8%	[目標値] 14,327 [実績値] 14,683 <達成率> 102.5%	[目標値] 15,178 [実績値] 13,704 <達成率> 90.3%	[目標値] 14,996 [実績値] — <達成率> —%	下水道処理区域内人口の増加数 (単位:人)	[目標値] 2,600 [実績値] 2,900 <達成率> 111.5%	[目標値] 2,400 [実績値] 2,200 <達成率> 91.7%	[目標値] 2,900 [実績値] 3,800 <達成率> 131.0%	[目標値] 3,530 [実績値] — <達成率> —%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 快適な生活環境の確保や公共用水域の水質保全等を図るため、汚水管の面的な整備を行う必要がある。				
33	幹線管渠整備事業	水道局 下水道建設課	○事業開始年度 昭和27年度 【概要】公共下水道の整備区域の拡大を図り、各家庭や事業所等から排除された汚水を終末処理場へ送るため、幹線の整備を行うものである。 【対象者】公共下水道事業認可区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・吉野幹線 L=596.5m ・宇宿5号幹線 L=222m ・宇宿7号幹線 L=159m	国補助	[概算コスト] 139,500 (内訳) ・決算額 122,338 ・人件費 17,162 (4.00人)	[概算コスト] 206,701 (内訳) ・決算額 196,037 ・人件費 10,664 (2.50人)	[概算コスト] 115,621 (内訳) ・決算額 105,009 ・人件費 10,612 (2.50人)	[概算コスト] 88,625 (内訳) ・予算額 82,258 ・人件費 6,367 (1.50人)	幹線管渠布設延長 (単位:m)	[目標値] 453 [実績値] 745.35 <達成率> 164.5%	[目標値] 1,005 [実績値] 959.70 <達成率> 95.5%	[目標値] 1,165 [実績値] 1,156.10 <達成率> 99.2%	[目標値] 977.50 [実績値] — <達成率> —%	排除面積 (単位:ha)	[目標値] 13.88 [実績値] 39.65 <達成率> 285.7%	[目標値] 46.35 [実績値] 45.89 <達成率> 99.0%	[目標値] 112.86 [実績値] 89.66 <達成率> 79.4%	[目標値] 87.95 [実績値] — <達成率> —%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市民の快適な生活環境の確保を図るため、各家庭や事業所等から排除された汚水を終末処理場へ送るための幹線の整備を行う必要がある。				
34	谷山処理場施設整備事業	水道局 下水道建設課	○事業開始年度 昭和59年度 【概要】公共下水道処理区域の拡大に伴い、増加する汚水を適正に処理するため、谷山処理場において、計画的に汚水処理施設の増強(新設・増設)を行うものである。 【対象者】公共下水道事業認可区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・水処理施設 746,815千円 ・送風機設備 120,100千円	国補助	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0人)	[概算コスト] 119,541 (内訳) ・決算額 113,143 ・人件費 6,398 (1.50人)	[概算コスト] 848,400 (内訳) ・決算額 825,054 ・人件費 23,346 (5.50人)	[概算コスト] 888,139 (内訳) ・予算額 866,915 ・人件費 21,224 (5.00人)	総合計画期間内における事業費ペースの進捗率 (単位:%)	[目標値] — [実績値] — <達成率> —%	[目標値] 5.80 [実績値] 1.99 <達成率> 34.3%	[目標値] 17.13 [実績値] 16.91 <達成率> 98.7%	[目標値] 32.53 [実績値] — <達成率> —%	増加する処理能力 (単位:m ³ /日)	[目標値] — [実績値] — <達成率> —%	[目標値] — [実績値] — <達成率> —%	[目標値] — [実績値] — <達成率> —%	[目標値] 7,600 [実績値] — <達成率> —%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市民の快適な生活環境の確保を図るため、計画的に汚水処理施設の増強を行う必要がある。				
35	南部処理場施設整備事業	水道局 下水道建設課	○事業開始年度 昭和50年度 【概要】公共下水道処理施設の適正な機能を確保するため、南部処理場において、計画的に老朽化した機器等の改築・更新を行うものである。 【対象者】公共下水道事業認可区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・脱水機設備 198,050千円 ・水処理運転操作設備 147,000千円 ・管理本館高架タンク 24,700千円 ・避雷設備更新 14,700千円	国補助	[概算コスト] 788,122 (内訳) ・決算額 773,105 ・人件費 15,017 (3.50人)	[概算コスト] 497,255 (内訳) ・決算額 480,193 ・人件費 17,062 (4.00人)	[概算コスト] 566,996 (内訳) ・決算額 554,262 ・人件費 12,734 (3.00人)	[概算コスト] 405,607 (内訳) ・予算額 390,750 ・人件費 14,857 (3.50人)	改築・更新及び改良を行う予(決算額) (単位:千円)	[目標値] 659,300 [実績値] 773,105 <達成率> 117.3%	[目標値] 432,520 [実績値] 480,193 <達成率> 111.0%	[目標値] 568,800 [実績値] 554,262 <達成率> 97.4%	[目標値] 390,750 [実績値] — <達成率> —%	改築・更新及び改良を行った機器数 (単位:箇所)	[目標値] 32 [実績値] 41 <達成率> 128.1%	[目標値] 106 [実績値] 113 <達成率> 106.6%	[目標値] 53 [実績値] 54 <達成率> 101.9%	[目標値] 32 [実績値] — <達成率> —%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市民の快適な生活環境の確保を図るため、南部処理場において、計画的に老朽化した機器等の改築・更新を行う必要がある。				

3 人と自然にやさしい快適なまち【快適環境都市】(3) 住みよい暮らしを支える(住宅と住環境、生活道路、水道、污水対策、環境衛生、墓地・斎場)

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				一次評価																二次評価									
					15年度	16年度	17年度	18年度	主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	評価結果	評価理由											
									指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度								17年度	18年度									
36	浄化槽関係管理・指導事業	環境局 環境指導課	○事業開始年度 昭和46年度 【概要】浄化槽の適正な設置工事・維持管理・使用に関する指導、事務管理を行うことにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ると共に、公共用水域の水質汚濁防止を図る。 【対象者】浄化槽設置者、浄化槽工事業業者など 【具体的な活動内容】 ・浄化槽設置届出の受付・審査・現地調査、浄化槽工事完了検査、浄化槽の維持管理徹底の指導、及び浄化槽の法定検査結果に基づく改善指導等を行なっている。	市単	[概算コスト] 27,348 (内訳) ・決算額 1,176 ・人件費 26,172 (6.10人)	[概算コスト] 27,384 (内訳) ・決算額 1,364 ・人件費 26,020 (6.10人)	[概算コスト] 27,165 (内訳) ・決算額 1,272 ・人件費 25,893 (6.10人)	[概算コスト] 25,862 (内訳) ・予算額 1,667 ・人件費 24,195 (5.70人)	浄化槽設置届出件数 (単位:基)	[目標値] 1,250 [実績値] 1,240 <達成率> 99.2%	[目標値] 1,450 [実績値] 1,457 <達成率> 100.5%	[目標値] 1,550 [実績値] 1,563 <達成率> 100.8%	[目標値] 1,600 [実績値] 1,600 <達成率> 100.0%	浄化槽工事完了検査件数 (単位:基)	[目標値] 1,150 [実績値] 1,127 <達成率> 98.0%	[目標値] 1,300 [実績値] 1,301 <達成率> 100.1%	[目標値] 1,350 [実績値] 1,394 <達成率> 103.3%	[目標値] 1,400 [実績値] 1,400 <達成率> 100.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 浄化槽設置届出の審査や工事完了検査等は法定受託事務であり、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るために実施する必要がある。
37	浄化槽整備補助事業	環境局 環境指導課	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、住宅及び集会所に浄化槽を設置する者に補助金を交付する。 【対象者】公共下水道の認可区域以外に浄化槽を設置する者 【具体的な活動内容】 ・50人槽以下の住宅及び集会所に合併処理浄化槽を設置した場合、その設置費用に補助金を交付している。	国・県補助	[概算コスト] 451,767 (内訳) ・決算額 446,618 ・人件費 5,149 (1.20人)	[概算コスト] 563,340 (内訳) ・決算額 558,221 ・人件費 5,119 (1.20人)	[概算コスト] 609,459 (内訳) ・決算額 604,365 ・人件費 5,094 (1.20人)	[概算コスト] 566,206 (内訳) ・予算額 561,112 ・人件費 5,094 (1.20人)	浄化槽補助基数 (単位:基)	[目標値] 1,023 [実績値] 1,023 <達成率> 100%	[目標値] 1,266 [実績値] 1,266 <達成率> 100%	[目標値] 1,280 [実績値] 1,280 <達成率> 100%	[目標値] 1,250 [実績値] 1,250 <達成率> 100%	浄化槽による生活排水処理率 (単位:%)	[目標値] 8.2 [実績値] 8.2 <達成率> 100%	[目標値] 8.4 [実績値] 8.4 <達成率> 100%	[目標値] 9.0 [実績値] 9.0 <達成率> 100%	[目標値] 9.6 [実績値] 9.6 <達成率> 100%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	Bc	Bc	事業手段の見直し(その他) (理由) 国の補助基準額が改定になっていることから、補助事業のあり方について検討する必要がある。		
38	し尿の収集・運搬及び手数料収納業務等委託事業	環境局 リサイクル推進課	○事業開始年度 昭和53年度 【概要】し尿の収集運搬、手数料の徴収及び収納業務を委託することにより、効率的、衛生的な収集体制等を確保するとともに、市民の生活環境と公衆衛生の維持、向上を図る。 【対象者】市内の(旧5町を除く)し尿くみ取り市帯など 【具体的な活動内容】 ・一般家庭・事業所等のし尿収集運搬業務及びし尿処理手数料徴収業務	市単	[概算コスト] 592,830 (内訳) ・決算額 592,615 ・人件費 215 (0.05人)	[概算コスト] 559,863 (内訳) ・決算額 559,650 ・人件費 213 (0.05人)	[概算コスト] 524,797 (内訳) ・決算額 524,585 ・人件費 212 (0.05人)	[概算コスト] 541,718 (内訳) ・予算額 541,506 ・人件費 212 (0.05人)	し尿の収集運搬量 (単位:kl)	[目標値] 20,696 [実績値] 20,622 <達成率> 99.6%	[目標値] 19,613 [実績値] 19,831 <達成率> 101.1%	[目標値] 18,607 [実績値] 18,861 <達成率> 101.4%	[目標値] 17,675 [実績値] 17,675 <達成率> 100.0%	し尿の収集・運搬による市民の生活環境の保全及び公衆衛生の維持向上	[目標値] 8.2 [実績値] 8.2 <達成率> 100%	[目標値] 8.4 [実績値] 8.4 <達成率> 100%	[目標値] 9.0 [実績値] 9.0 <達成率> 100%	[目標値] 9.6 [実績値] 9.6 <達成率> 100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	Bc	事業手段の見直し(その他) (理由) 過去の手数料見直しの経過を踏まえ、新たな改定についても検討すべきである。		
39	美しいまちづくり推進事業	環境局 環境衛生課	○事業開始年度 平成16年度 【概要】「鹿児島市みなでまちを美しくする条例」に規定する「市民総参加による美しいまちづくり」のための諸活動を行う。 【対象者】市民等(市内滞在者・市内を通過する者含む)・事業者 【具体的な活動内容】 ・美しいまちづくり運動強調月間(8月)における広報活動、一斉清掃活動(クリーン・シティかごしま)、市内全域における巡回及び指導等活動 路上禁煙地区路面表示板設置 まち美化推進団体の登録促進等 ※なお、財源についてはH18一部国補助あり(1,578千円)	市単	[概算コスト] 16,620 (内訳) ・決算額 8,089 ・人件費 8,531 (人)	[概算コスト] 19,249 (内訳) ・決算額 10,759 ・人件費 8,490 (2.00人)	[概算コスト] 21,650 (内訳) ・決算額 13,076 ・人件費 8,490 (2.02人)	[概算コスト] 21,650 (内訳) ・予算額 13,076 ・人件費 8,574 (2.02人)	路上禁煙地区を中心とした巡回パトロール(まち美化推進指導員) (単位:回)	[目標値] - [実績値] - <達成率> -%	[目標値] 203 [実績値] 203 <達成率> 100%	[目標値] 203 [実績値] 203 <達成率> 100%	[目標値] 203 [実績値] 203 <達成率> 100%	まち美化推進指導員による条例違反者への指導件数 (単位:件)	[目標値] - [実績値] - <達成率> -%	[目標値] 460 [実績値] 460 <達成率> 100%	[目標値] 230 [実績値] 230 <達成率> 100%	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市民の美化意識の向上、ポイ捨てのないまちづくり、観光都市かごしまのイメージアップのために必要である。		
40	そ族衛生害虫駆除事業	環境局 環境衛生課	○事業開始年度 昭和40年度 【概要】感染症を予防し市民の快適な生活環境を確保するため、そ族衛生害虫の駆除及び指導・啓発を行なう。なお平成17年度までは直営方式で実施していた駆除作業に関して、平成18年度以降は業者委託により執行する。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・公共部分(道路・側溝等)で発生するユスリカ・ゴキブリ等について駆除を行う。駆除については、18年度より民間業者へ委託する。	市単	[概算コスト] 11,449 (内訳) ・決算額 723 ・人件費 10,726 (2.50人)	[概算コスト] 13,062 (内訳) ・決算額 2,398 ・人件費 10,664 (2.50人)	[概算コスト] 12,255 (内訳) ・決算額 1,643 ・人件費 10,612 (2.50人)	[概算コスト] 8,047 (内訳) ・予算額 6,137 ・人件費 1,910 (0.45人)	そ族衛生害虫駆除に関する相談受付件数 (単位:件)	[目標値] 737 [実績値] 737 <達成率> 100%	[目標値] 975 [実績値] 975 <達成率> 100%	[目標値] 815 [実績値] 899 <達成率> 110.3%	[目標値] 888 [実績値] 888 <達成率> 100%	快適な生活環境の確保及び環境衛生に対する啓発を図る	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100%	[目標値] 88 [実績値] 85 <達成率> 96.6%	[目標値] 138 [実績値] 138 <達成率> 100%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 感染症を予防し市民の快適な生活環境を確保するため、そ族衛生害虫の駆除及び指導・啓発を図ることは必要である。	
41	環境衛生功労者表彰事業	環境局 環境衛生課	○事業開始年度 昭和33年度 【概要】市及び、市衛生組織連合会の主催により年1回環境衛生改善活動及び清掃美化等に功労のあった個人・団体等を表彰することで、環境衛生に関する意識の高揚を図る。 【対象者】環境衛生功労者及び町内会会員 【具体的な活動内容】 ・毎年2月下旬に行う「環境衛生大会」における表彰及び記念品の授与	市単	[概算コスト] 624 (内訳) ・決算額 195 ・人件費 429 (0.10人)	[概算コスト] 639 (内訳) ・決算額 212 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 735 (内訳) ・決算額 311 ・人件費 424 (0.10人)	[概算コスト] 774 (内訳) ・予算額 519 ・人件費 255 (0.06人)	環境衛生大会開催数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	表彰町内会長・団体数 (単位:件)	[目標値] 102 [実績値] 68 <達成率> 66.7%	[目標値] 100 [実績値] 74 <達成率> 74.0%	[目標値] 88 [実績値] 85 <達成率> 96.6%	[目標値] 138 [実績値] 138 <達成率> 100%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 環境衛生改善活動及び清掃美化等に功労のあった個人・団体等を表彰することは、環境衛生に関する意識の高揚を図るために必要である。		
42	衛生自治団体補助事業	環境局 環境衛生課	○事業開始年度 昭和55年度 【概要】衛生思想の啓発と普及を図り、ごみ減量運動、そ族衛生害虫駆除及び定期大掃除、まち美化等の活動をしている衛生自治団体に対し、事業運営資金一部を助成することで自主的活動を促進し、住みよい環境づくりを図る。 【対象者】市衛生組織連合会 【具体的な活動内容】 ・事業運営資金の一部助成を行うことによる、自主的活動の促進(活動費(まち美化活動等)・研修費・総会費・大会費(環境衛生大会に係るもの)等)	市単	[概算コスト] 12,891 (内訳) ・決算額 8,600 ・人件費 4,291 (1.00人)	[概算コスト] 12,866 (内訳) ・決算額 9,000 ・人件費 4,266 (1.00人)	[概算コスト] 13,245 (内訳) ・決算額 9,000 ・人件費 4,245 (1.00人)	[概算コスト] 13,829 (内訳) ・予算額 13,107 ・人件費 722 (0.17人)	事業運営補助金の補助額 (単位:千円)	[目標値] 8,600 [実績値] 8,600 <達成率> 100%	[目標値] 8,600 [実績値] 8,600 <達成率> 100%	[目標値] 9,000 [実績値] 9,000 <達成率> 100%	[目標値] 13,107 [実績値] 13,107 <達成率> 100%	各年度の団体主要事業回数 (単位:回)	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100%	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100%	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100%	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 住みよい環境づくりのため、市民の自主的衛生活動を活発にすることは必要である。		

3 人と自然にやさしい快適なまち〔快適環境都市〕(3) 住みよい暮らしを支える(住宅と住環境、生活道路、水道、污水対策、環境衛生、墓地・斎場)

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				一次評価																二次評価							
					15年度	16年度	17年度	18年度	主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	評価結果	評価理由									
									指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度								17年度	18年度							
43	獣疫事業	健康福祉局生活衛生課	○事業開始年度 昭和25年度 【概要】狂犬病予防法等に基づく野犬、放し飼い犬等の捕獲や広報紙による飼養者への啓発を行い、野犬等の捕獲頭数の減少と狂犬病の予防、発生時対策を図る。 【対象者】犬の飼養者 【具体的な活動内容】 ・野犬、放し飼い犬等の捕獲 ・市民のひろば等の広報紙での広報(10回) ・広報車による広報(随時)	市単	[概算コスト] 59,456 (内訳) ・決算額 50,532 ・人件費 8,924 (2.08人)	[概算コスト] 62,693 (内訳) ・決算額 53,821 ・人件費 8,872 (2.08人)	[概算コスト] 66,023 (内訳) ・決算額 57,194 ・人件費 8,829 (2.08人)	[概算コスト] 67,255 (内訳) ・予算額 58,426 ・人件費 8,829 (2.08人)	捕獲頭数 (単位:頭)	[目標値] 390 [実績値] 320	[目標値] 380 [実績値] 361	[目標値] 370 [実績値] 443	[目標値] 400	狂犬病の発生防止	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 野犬等の捕獲頭数の減少と狂犬病の予防、発生時対策を図るため、狂犬病予防法等に基づく野犬、放し飼い犬等の捕獲や飼養者への啓発は必要である。
44	犬猫等の飼養者啓発事業	健康福祉局生活衛生課	○事業開始年度 昭和25年度 【概要】狂犬病予防法等に基づく野犬、放し飼い犬等の捕獲や広報紙による飼養者への啓発を行い、野犬等の捕獲頭数の減少と狂犬病の予防、発生時対策を図る。 【対象者】犬の飼養者 【具体的な活動内容】 ・野犬、放し飼い犬等の捕獲 ・市民のひろば等の広報紙での広報(10回) ・広報車による広報(随時) ・狂犬病定期予防注射の実施(4月～6月、市内230会場)	市単	[概算コスト] 7,027 (内訳) ・決算額 373 ・人件費 6,654 (1.56人)	[概算コスト] 7,015 (内訳) ・決算額 393 ・人件費 6,622 (1.56人)	[概算コスト] 7,041 (内訳) ・予算額 419 ・人件費 6,622 (1.56人)	チラシの作成、配布 (単位:枚)	[目標値] 630 [実績値] 630	[目標値] 7,334 [実績値] 7,334	[目標値] 730 [実績値] 697	[目標値] 730	犬、猫の飼養者のモラルの向上(苦情件数)	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	○	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 犬、猫の飼養者に対する糞の処理等についてのマナー啓発は、飼養者のモラルの向上に寄与しており、必要な事業である。		
45	市営墓地施設改良事業	環境局環境衛生課	○事業開始年度 平成1年度 【概要】市営墓地の法面、参道、側溝等の改良及び給水栓の設置を年次的に行い、墓参者の安全確保及び利便性の向上を図る。 【対象者】市営墓地利用者 【具体的な活動内容】 ・年次計画に基づく、参道・側溝整備及び防護柵設置等	市単	[概算コスト] 41,741 (内訳) ・決算額 40,797 ・人件費 944 (0.22人)	[概算コスト] 35,273 (内訳) ・決算額 34,377 ・人件費 896 (0.21人)	[概算コスト] 37,009 (内訳) ・決算額 36,415 ・人件費 594 (0.14人)	[概算コスト] 26,001 (内訳) ・予算額 24,600 ・人件費 1,401 (0.33人)	施設工事費 (単位:千円)	[目標値] 42,906 [実績値] 40,797	[目標値] 37,265 [実績値] 34,377	[目標値] 37,495 [実績値] 36,415	[目標値] 24,600	参道等の改良及び給水栓の設置 (単位:箇所)	[目標値] 6 [実績値] 6	[目標値] 6 [実績値] 7	[目標値] 7 [実績値] 7	[目標値] 7	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 墓参者の安全確保及び利便性の向上を図るため、防護柵の設置等の安全対策や施設の老朽化へ対応することは必要である。	
46	共同墓地助成事業	環境局環境衛生課	○事業開始年度 昭和41年度 【概要】市内にある共同墓地の環境整備、災害防止及び災害防止事業の助成を行うことにより、墓地使用者の負担を軽減し、墓地の環境整備等を促進するとともに使用者の環境整備についての意識の高揚を図る。 【対象者】共同墓地管理組合 【具体的な活動内容】 ・共同墓地が実施する施設の整備等に対して助成 する。(1)環境整備 2分の1 (2)災害防止 3分の2 (3)災害復旧 3分の2 (4)整備統合 改葬許可1件につき2千円	市単	[概算コスト] 10,095 (内訳) ・決算額 7,950 ・人件費 2,145 (0.50人)	[概算コスト] 17,920 (内訳) ・決算額 15,787 ・人件費 2,133 (0.50人)	[概算コスト] 18,333 (内訳) ・決算額 16,211 ・人件費 2,122 (0.50人)	[概算コスト] 44,547 (内訳) ・予算額 42,425 ・人件費 2,122 (0.50人)	補助金額 (単位:千円)	[目標値] 10,819 [実績値] 6,795	[目標値] 15,908 [実績値] 14,254	[目標値] 13,580 [実績値] 11,465	[目標値] 39,162	補助件数 (単位:件)	[目標値] 7 [実績値] 5	[目標値] 12 [実績値] 11	[目標値] 11 [実績値] 10	[目標値] 11 [実績値] 10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 共同墓地の環境整備や災害防止及び災害防止事業の助成を行うことは必要である。	
47	市営墓地環境整備事業	環境局環境衛生課	○事業開始年度 平成10年度 【概要】市営墓地の管理の行き届かない墓地区画等の整理を行い、空スペースを利用し、休憩施設、公衆便所及び駐車場を整備し、墓参者の利便性の向上を図る。 【対象者】市営墓地利用者 【具体的な活動内容】 ・使用者の管理の行き届かない墓地区画の利用者に対する立て札設置、官報公告による管理改善指導等	市単	[概算コスト] 28,300 (内訳) ・決算額 25,726 ・人件費 2,574 (0.60人)	[概算コスト] 35,899 (内訳) ・決算額 33,340 ・人件費 2,559 (0.60人)	[概算コスト] 11,077 (内訳) ・決算額 8,530 ・人件費 2,547 (0.60人)	[概算コスト] 11,754 (内訳) ・予算額 7,934 ・人件費 3,820 (0.90人)	環境整備委託料 (単位:千円)	[目標値] 11,539 [実績値] 11,539	[目標値] 34,570 [実績値] 32,349	[目標値] 8,198 [実績値] 7,667	[目標値] 6,439	対象件数に対する処理件数の割合 (単位:件)	[目標値] 8 [実績値] 10	[目標値] 5 [実績値] 9	[目標値] 5 [実績値] 10	[目標値] 5 [実績値] 10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 墓参者の利便性の向上を図るために墓地区画等の整理などは必要である。	
48	斎場施設整備事業	環境局環境衛生課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】斎場施設の改修を行うことにより、斎場の永続的かつ効率的な維持管理に努める。 【対象者】北部斎場・南部斎場 【具体的な活動内容】 ・北部斎場:外壁調査業務・キャノピー塗装その他工事、待合ロビー・タイルカーペット改修工事、防護柵等設置工事等 ・南部斎場: 火葬炉誘引排風機取替工事(4基)	市単	[概算コスト] 6,777 (内訳) ・決算額 6,648 ・人件費 129 (0.03人)	[概算コスト] 9,527 (内訳) ・決算額 9,314 ・人件費 213 (0.05人)	[概算コスト] 4,611 (内訳) ・決算額 4,484 ・人件費 170 (0.03人)	[概算コスト] 18,452 (内訳) ・予算額 18,282 ・人件費 170 (0.04人)	設備改修工事費 (単位:千円)	[目標値] 6,865 [実績値] 6,648	[目標値] 10,063 [実績値] 9,314	[目標値] 4,678 [実績値] 4,484	[目標値] 16,158	改修済み設備数 (単位:箇所)	[目標値] 5 [実績値] 5	[目標値] 6 [実績値] 6	[目標値] 4 [実績値] 4	[目標値] 7 [実績値] 4	◎	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 年次的、定期的な改修により斎場の長期的かつ効率的な活用を図るために斎場施設の改修は必要である。	